



## JUNBA 理事会(第 177 回)議事要旨

日時: 令和 5 年 9 月 21 日(木)16:00~

場所: 日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター(オンライン)

出席者: 16名

【理事】 桜美林大学(丸山会長)、大阪大学(North 副会長)、名古屋大学(神山理事)

【事務局】 日本学術振興会(中別府事務局長(兼常務理事)、池田副センター長、田邊、Abby Hughes)

【オブザーバー】大阪大学(東澤)、早稲田大学(眞谷)、神戸大学(橋本)、東京工業大学(上田)、US-Japan Forum(井手)、鹿児島大学(Steve Cother)、立命館大学(三宅)、在サンフランシスコ総領事館(黒川、近江)

### 1. 会長挨拶(丸山会長)

今回の理事会より、事務的事項を最初に短時間で報告・審議したのちに、理事から提案されたトピックにフォーカスを当てた議論と意見交換を行うミーティングとすることについて、共有された。

### 2. 活動報告

鹿児島大学及び東京工業大学の拠点代表者から拠点設置の経緯、活動内容の報告、現在の課題点等が発表された。(下記、共有された課題等の抜粋)

さらに、それぞれの発表内容について、質疑応答と情報交換が行われた。

#### (1) 鹿児島大学 Steve Cother 氏

学生派遣に関して

・サンフランシスコの治安がコロナ以前よりも悪くなっており、その点が今後の懸念事項となっている。

・学生を派遣するのに使われていた JASSO の支援が短期派遣において利用できなくなり、アメリカの派遣については特に資金面で苦労している。

#### (2) 東京工業大学 上田啓雄氏

・今後の課題として、政府主導の半導体に関する人材育成、研究開発に関わる日米大学間パートナーシップについて、スピード感を持って進めていく必要性について共有された。

### 3. 10月理事会メンバー報告担当大学確認

今回は、東北大学及び早稲田大学が報告を行うことを確認した。

### 4. 理事会 議題・報告

#### JUNBA 事務局からのお知らせ

##### (1) 前回理事会の議事要旨について

事務局から、事前に共有された資料について追加・修正等の意見がなかったことについて説明があり、原案どおり承認した。

##### (2) 個人会員の申込について

事務局から、資料に基づき説明があり、一名の入会を承認した。

##### (3) 名誉アドバイザーの就任について

事務局から資料に基づき、9月25日着任の新在サンフランシスコ日本国総領事に名誉アドバイザーを依頼することを報告した。

##### (4) 活動について

資料に基づき、活動計画について確認した。また、井手会員及び三宅エグゼクティブアドバイザーからコメント及び活動の共有があった。領事館から、JUNBA の活動に関する情報の共有があった。

##### (5) 会則の改正について

丸山会長から説明があり、改正の内容について11月までに確認を依頼したい旨連絡があった。コメント等を踏まえて11月に臨時総会を開催し、改正内容を附議する旨共有された。

#### 月例会-(丸山会長)

2023-24年度の下半期について、月例会のテーマを2つの分野のいずれかに絞る:

#### 9月: 学生短期・中期・長期交流、研修

##### トピック:

円安ドル高の影響で米国でのプログラムが過度に割高となっている。各大学で日本人学生の留学費用負担軽減のために行われている対応について。

TOEFL が低い学生や裕福でない学生の留学を促進するための創造的な交流協定について。

上記の課題について丸山会長から課題提起され、その後各大学での取り組み状況等を踏まえて下記のとおり議論が実施された。また、議論の途中で挙げたLCCの利用について、各大学が持っている情報の共有がされた。主な意見については下記のとおりである。

名古屋大学:協定校で授業料免除を前提とした留学が行われているが、留年したくないという理由で名古屋大学からノースカロライナ大学に留学したい学生が少ないということが現在の課題。

US-Japan Forum(井手会員):Zipair の就航で航空券が安くなったため、バイエリアへの渡航はしやすくなったというメリットがある。また、企業を巻き込んで独自のファンドを作って金銭面でのサポートを行っていくという取組みがあり得る。

大阪大学:UC Davis とハワイ大学で研修を実施している。コストが上がりすぎると学生が集まらないため、Price Keeping Operation でコロナ前の金額でプログラムを実施している。

さらに、阪大+他大学と一緒に共同プログラムを提供することにしたい。

なお、LCC の利用については親が納得しない、大学が利用を認めないなど、団体旅行の際に使いづらいという面が指摘された。

今後の予定について、会長から下記について説明があり、今後の議題を確認した。

**10月:** 起業家・ビジネス交流または研究室ベースでの交流

**11月~2月:** テーマ未定(ディスカッションの希望をお寄せください)

想定されるトピック:

- ・米国またはカナダへの留学需要を高める方法
- ・クォーター制とセメスター制の説明と留学における必要な調整
- ・日本人学生がアメリカの授業を聴講できるようにするための協定の作り方

**3月:** 2024-25年度 JUNBA ミーティング・テーマの検討

最後に、会則改正に関して、黒川エグゼクティブアドバイザーから JUNBA の略称を保ったままの団体の名称として、「Japanese University Network Bridging the Americas」という提案があった。理事会として、JUNBA の立ち上げに関わった元会長の方々にも現在の JUNBA の活動や在り方に合った名称への変更について支持する旨の意思確認をしており、また、発足時からの JUNBA の略称を維持できることから、黒川エグゼクティブアドバイザーの提案に沿った形で、日本語の組織名称および会則の前文を含め改正することを承認した。

具体的な会則の改正案を事務局が作成し、理事会メンバーに諮ることを確認した。

次回理事会の日程: 令和 5 年 10 月 26 日(木)16 時 00 分~(PDT)

10 月 26 日(木)19 時 00 分~(EDT)

10 月 27 日(金)8 時 00 分~(JST)